【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2001-240803(P2001-240803A)
【公開日】平成13年9月4日(2001.9.4)
【出願番号】特願2000-54603(P2000-54603)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ 183/04　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　5/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 183/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 183/04
Ｃ０９Ｄ　5/00
Ｃ０９Ｄ 183/06

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月15日(2007.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
(ｉ)成分のケイ素原子結合加水分解性基としては、メトキシ基、エトキシ基、メトキシエトキシ基等のアルコキシ基；メチルエチルケトキシム基等のオキシム基；アセトキシ基；アミノキシ基が例示される。このような(i)成分のシランもしくはシロキサンとしては、メチルトリメトキシシラン、エチルトリメトキシシラン、メチルトリ(メトキシエトキシ)シラン、テトラメトキシシラン、テトラエトキシシラン等のアルコキシシラン、およびそれらの部分加水分解縮合物；メチルトリ(メチルエチルケトキシム)シラン、エチルトリ(メチルエチルケトキシム)シラン、テトラ(メチルエチルケトキシム)シラン等のオキシムシラン、およびそれらの部分加水分解縮合物；メチルトリアセトキシシラン、エチルトリアセトキシシラン、テトラアセトキシシラン等のアセトキシシラン、およびそれらの部分加水分解縮合物；メチルトリ(トリメチルアミノキシ)シラン、エチルトリ(トリメチルアミノキシ)シラン、テトラ(オリメチルアミノキシ)シラン等のアミノキシシラン、およびそれらの部分加水分解縮合物が例示され、好ましくは、アルコキシシラン、またはその部分加水分解縮合物であり、特に好ましくは、テトラアルコキシシランの部分加水分解縮合物であるアルキルポリシリケートである。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
次に、このエマルジョンに、ポリオキシエチレンラウリル硫酸ナトリウム０．５重量部を加えて十分に混合した後、オクチル酸錫(II)１重量部をポリオキシエチレンラウリル硫酸ナトリウム０.２５重量部と純水９.７５重量部からなる水溶液中に乳化することにより調製した平均粒径が約１.２μｍである縮合反応触媒のエマルジョンを混合して、１日間静置したところ、ゲル状物のない、架橋シリコーン粒子の均一な水系サスペンジョン(Ｄ)が得られた。次に、このサスペンジョンを２００メッシュ濾過したところ、メッシュオン

した架橋シリコーン粒子は全体の１．９重量％であった。この架橋シリコーン粒子は、タイプＡデュロメータ硬さが６０のゴム状であり、また、その平均粒径が４μｍであった。